

服飾造形・実習（ドレーピング含）

山木 実千代・赤澤 結花

アパレルデザイン科 通年 必修（演習／実習・実技）

◆授業の方針・概要

授業担当者のモデリストとしての経験と実績を活かし、平面製図から、さまざまなデザイン、素材に対応できるトワルとパターンメイキング及び縫製技術を修得させることを目的とする。また各種コンテスト等に積極的に挑戦することで更なる技術の向上と内面の成長を目指す。

◆到達目標（学修成果）

各自の世界観の中からのイメージを的確に服飾造形作品として作り上げることが出来る、知識や技術の習得を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。実物作品を制作することの積み重ねが、確かな技術習得に繋がります。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	造形研究-テクスチャーと技術、手法	復習：プロセスの確認	30分
2回	【実物制作】デザイナー研究 デザインに基づいた製図の作成	予習：デザインの確認	30分
3回	・製図	予習：教科書を読む	30分
4回	・トワル作成	予習：教科書を読む	30分
5回	・トワル修正、パターン修正、ステッチ等縫製確認	予習：教科書を読む	30分
6回	・工業用パターン作成	予習：教科書を読む	30分
7回	・縫製	予習：縫製の確認	30分
8回	・縫製	復習：進めておく	30分
9回	【実物制作】ピギーズ作品 デザインに基づいた製図の作成	予習：デザインの確認	30分
10回	・トワル作成	予習：教科書を読む	30分
11回	・フィッティング、トワル修正、パターン修正	予習：教科書を読む	30分
12回	・パターン修正、ステッチ等縫製確認	予習：教科書を読む	30分
13回	・工業用パターン作成	予習：教科書を読む	30分
14回	・縫製	予習：縫製の確認	30分
15回	・縫製	復習：進めておく	30分
16回	コンテスト作品制作及び制作1	予習：リサーチ	30分
17回	コンテスト作品制作及び制作2	予習：テクニック考案	30分
18回	コンテスト作品制作及び制作3	予習：素材を探す	30分
19回	コンテスト作品制作及び制作4	予習：縫製の確認	30分
20回	コンテスト作品制作及び制作5	予習：縫製の確認	30分
21回	卒業制作（作品数は自由） トワル制作・テキスタイルサンプル制作	予習：素材の市場調査	30分
22回	卒業制作 トワル制作・テキスタイルサンプル制作	予習：素材の市場調査	30分
23回	卒業制作 トワル制作・テキスタイルサンプル制作	予習：素材の市場調査	30分
24回	卒業制作 トワルフィッティングと修正・テキスタイルサンプル修正	予習：素材確認	30分
25回	卒業制作 トワルフィッティングと修正・テキスタイルサンプル修正	予習：素材確認	30分
26回	卒業制作 パターン修正	予習：パターン確認	30分
27回	卒業制作 縫製・フィッティング	予習：教科書を読む	30分
28回	卒業制作 縫製・フィッティング	予習：教科書を読む	30分
29回	卒業制作 縫製	予習：教科書を読む	30分
30回	課題のフィードバックを行う	復習：作品の振り返り	60分

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

◆教科書

ドレメ式原型、SEWING I、II、III、IV 他

◆参考文献

QUOTATION、gap 等

◆オフィスアワー

毎週：金曜日（15時30分～16時30分）5202教室（第5校舎2階）

◆備考

各種コンテストの開催日などにより、日程内容を変更する場合もある。

卒業制作

赤澤 結花・山木 実千代

アパレルデザイン科 20日間 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

今までに学んだ全ての知識及び技術を土台とし、さらにアパレルデザイン科で学んだデザイン力をプラスし、クリエイティブティを追求した自分の世界観を表現した作品を制作する事を目的とする。

テーマ・コンセプト・デザイン・生地をトータルで考え、まとめあげる。2～8体の作品製作。

他の教科で修得した技術を利用し、特殊技法による素材作りからシルエット、バランスに至までオリジナルな作品を作り上げる。アパレル業界で活躍する方々を審査員として審査会を行い、外部評価とする。

◆到達目標 (学修成果)

時代と自分の世界観を融合させ、オリジナル作品の完成を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。1年間の集大成としての作品制作。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	【トワル制作】 ・製図、トワル制作	復習：トワルの見直し	30分
2回	・製図、トワル制作	復習：トワルの見直し	30分
3回	【トワル仮縫い】 ・トワル仮縫いと修正	復習：トワルの見直し	30分
4回	・トワルと素材の確認	復習：素材の確認	30分
5回	・トワル仮縫いと修正	復習：トワルの見直し	30分
6回	・トワル素材の確認	復習：素材の確認	30分
7回	【実物制作】 ・パターン作成と縫製確認	予習：教科書を読む	30分
8回	・パターン作成、縫製確認、部分縫い	予習：教科書を読む	30分
9回	・縫製	復習：縫製確認	30分
10回	・縫製	復習：縫製確認	30分
11回	・縫製	復習：縫製確認	30分
12回	・縫製	復習：縫製確認	30分
13回	・縫製	復習：縫製確認	30分
14回	・縫製	復習：縫製確認	30分
15回	【作品提出】 ・作品提出	予習：作品の見直し	30分
16回	【トータルコーディネート】 ・アクセサリ、靴等トータルコーディネート提案と提出	予習：市場調査	30分
17回	【デザイン画・ボード作成】 ・審査用デザイン画作成 ・ポートフォリオ及びボード作成	予習：デザイン画の構成確認	30分
18回	【プレゼンテーション】 ・プレゼン原稿作成	復習：原稿の確認	30分
19回	【最終提出】 ・審査会必要資料の提出とリハーサル	予習：原稿の確認	30分
20回	審査会での発表	復習：	

◆フィードバックの方法

審査結果発表時に審査員が講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	—
試験	—
課題	—
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	100%

◆教科書

ドレメ式原型、SEWING I、II、III、IV 他

◆参考文献

QUOTATION、gap 等

◆オフィスアワー

毎週：金曜日 (15時30分～16時30分) 5202教室 (第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

クリエイティブデザイン

赤澤 結花

アパレルデザイン科 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

多種多様な要素からデザインを発想する力を育て、表現することを学ぶ。自身の感覚だけに頼らず、世の中にあるデザインに繋がる要素のかけらを情報収集することからはじめ、イメージを具現化するために必要なディティールを考え、オリジナリティのあるデザインにまとめ上げる。そのために必要な情報のとらえ方や、追求の仕方、展開方法等を学んでいく。

◆到達目標 (学修成果)

デザインする力を身につけ、世界観をヴィジュアル的に表現できることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。発想力とデザインする力を育てることが、よりクオリティの高い作品制作に役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	デザイン研究-デザイナー	予習：リサーチ	30分
2回	〃	予習：下描き	30分
3回	デザイン研究-ペーパークラフト他	予習：リサーチ	30分
4回	〃	予習：下描き	30分
5回	副資材使用コンテストへ向けてのデザイン 1	予習：副資材調査	30分
6回	副資材使用コンテストへ向けてのデザイン 2	予習：下描き	30分
7回	デザイン研究-民族衣装	予習：リサーチ	30分
8回	〃	予習：下描き	30分
9回	〃	予習：リサーチ	30分
10回	ピギーズに向けてのデザイン	予習：下描き	30分
11回	デザイン研究-建築、美術他	予習：リサーチ	30分
12回	〃	予習：下描き	30分
13回	全国 FDC コンテストへ向けてのデザイン 1	予習：リサーチ	30分
14回	全国 FDC コンテストへ向けてのデザイン 2	予習：下描き	30分
15回	全国 FDC コンテストへ向けてのデザイン 3	予習：修正	30分
16回	デザイン研究-音楽、物語他	予習：テーマを決める	30分
17回	〃	予習：下描き	30分
18回	卒業制作テーマ、コンセプト、ヴィジュアル提案 1	予習：リサーチ	60分
19回	卒業制作テーマ、コンセプト、ヴィジュアル提案 2	予習：テーマを決める	60分
20回	卒業制作テーマ、コンセプト、ヴィジュアルまとめ 3	予習：全体を見直す	30分
21回	卒業制作のデザイン 1	予習：下書き	30分
22回	卒業制作のデザイン 2	予習：下書き	60分
23回	卒業制作テキスタイルデザイン 1	予習：素材の市場調査	60分
24回	卒業制作テキスタイルデザイン 2	予習：サンプルを作る	60分
25回	卒業制作のデザイン修正 1	予習：修正箇所の確認	60分
26回	卒業制作のデザイン修正 2	予習：修正	30分
27回	卒業制作資料の作成	予習：内容を考える	60分
28回	卒業制作作品ポートフォリオ制作 1	予習：内容を考える	30分
29回	卒業制作作品ポートフォリオ制作 2	予習：作品の確認	30分
30回	課題のフィードバックを行う	復習：作品の振り返り	60分

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

QUOTATION、gap 等

◆オフィスアワー

毎週：月曜日 (15時30分～16時30分) 5202 教室 (第5校舎2階)

◆備考

各種コンテストの開催日などにより、日程内容を変更する場合もある。

ファッションイラストレーション

渡辺 直樹

アパレルデザイン科 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

トレンド情報誌や服飾史、ファッション画テキスト等書籍執筆をしてきた経験から、この授業ではファッションに関わる描画表現において視野の拡大と技術力向上を目指す内容となる。またアナログ表現とデジタル表現を使い分けている経験から、一連の作業においてデモンストレーションを多く示す方針である。

◆到達目標 (学修成果)

イメージマップ、デザイン画、平絵 (ハンガーイラスト) などの表現において、常に進化し優れた発信者となることを目標とする。基本のアナログ描画に加えて、画像加工、カラージュ、出力原稿への加筆などのプロセスも修得する。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。サンプル制作に入る前段階として、より深くイメージして描いてみることは、アパレル製品作りの初期段階でとても重要なプロセスである。この修練を続けることでアパレルクリエイターとしての素養を身につける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回 4/17	①ファッションイラストについて解説、デモ 模写を描く	復習：模写仕上げ	45
2回 4/24	②独自テーマのイメージマップ作りからデザイン起こし ラフ出し	復習：ラフ再考	20
3回 5/1	独自テーマのイメージマップ作りからデザイン起こし バリエーション出し	復習：バリエ再考	20
4回 5/8	独自テーマのイメージマップ作りからデザイン起こし カラー・素材検討	復習：カラー・素材再考	30
5回 5/16	③全国ファッションデザインコンテスト解説(ショーピース/コマーシャルピース・ラフ出し)	復習：ラフ再考	20
6回 5/22	全国ファッションデザインコンテスト ラフスケッチ添削	復習：ラフ再考	20
7回 5/29	全国ファッションデザインコンテスト 下絵制作	復習：下絵確認	30
8回 6/5	全国ファッションデザインコンテスト 本画仕上げ	復習：提出準備	30
9回 6/12	④独自テーマのイメージマップ作りからデザイン起こし 再考整理 平絵制作	予習復習：5/8の続き	30
10回 6/19	独自テーマのイメージマップ作りからデザイン起こし 仕上げ提出	復習：追加修正	30
11回 6/26	⑤3種テクニックからのデザイン画 解説・ラフ出し	復習：ラフ再考	20
12回 7/3	3種テクニックからのデザイン画 ラフスケッチ添削	復習：ラフ再考	20
13回 7/10	3種テクニックからのデザイン画 下絵制作	復習：下絵確認	30
14回 7/17	3種テクニックからのデザイン画 仕上げ提出 (夏季課題解説)	復習：追加修正	30
15回 9/11	⑥ファッション画コンクール 解説・ラフ出し	復習：ラフ再考	20
16回 9/18	ファッション画コンクール ラフスケッチ添削・下絵制作	復習：下絵制作	60
17回 9/25	ファッション画コンクール 本画仕上げ	復習：追加修正	20
18回 10/2	⑦クロッキー	予習：コーデ検討	10
19回 10/9	クロッキー	予習：コーデ検討	10
20回 10/16	⑧民族衣装からのデザイン画 解説・ラフ出し	復習：資料研究	60
21回 10/23	民族衣装からのデザイン画 ラフスケッチ添削	復習：ラフ再考	30
22回 11/6	民族衣装からのデザイン画 下絵制作	復習：下絵再考	60
23回 11/13	民族衣装からのデザイン画 仕上げ提出	復習：追加修正	20
24回 11/20	⑨ドレスを描く 解説・ラフ出し	復習：資料研究	60
25回 11/27	ドレスを描く ラフスケッチ添削	復習：ラフ再考	30
26回 12/4	ドレスを描く 下絵制作	復習：下絵再考	30
27回 12/11	ドレスを描く 本画制作	復習：本画加筆	60
28回 12/18	ドレスを描く 仕上げ提出	復習：追加修正	20
29回 1/15	⑩クロッキー	予習：コーデ検討	10
30回 1/22	クロッキー	予習：コーデ検討	10

◆フィードバックの方法

ほぼ全ての時間が制作途中となるので、個々に必要と思われるタイミングで都度アドバイスを伝える。提出物を評価、採点して後日返却。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	—
課題	80%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

図書館蔵書、WEB:pinterest など

◆オフィスアワー

授業終了後に教室または講師室にて質問等対応可能です

◆備考

各課題の進捗により課題内容は変更になることがあります。

ドローイングアドバンス

杉山 尚子

高度アパレル専門科3年/アパレルデザイン科 年間25回 必修 (講義/実習・実技)

◆授業の方針・概要

ドローイングはファッションデザインの要となる技術であり、イメージを可視化して他者に伝える手段である。

服飾デザインの基本となる人体を中心に授業を行い、美術解剖学の授業と関連づけて人体の形と構造を把握することでデザインに活かしていく。

描画技術の向上だけでなく、オブジェ制作など多角的なアプローチでオリジナリティーのある創造的な表現への発展をはかる。

◆到達目標 (学修成果)

見る力と描写力を鍛えることで、形を構造的に捉え、的確に描出することができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。表現者としてのデザイナーに必要なイメージ発想の求め方と展開、具現化がその後の作品制作に重要である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	授業の説明 素描、描画用具の説明 石膏デッサン 1	予習：画材の準備	15分
2回	石膏デッサン 2	復習：作業の確認	10分
3回	石膏デッサン 3	復習：作業の確認	10分
4回	石膏デッサン 4	復習：作業の確認	10分
5回	石膏デッサン 5	復習：作業の確認	10分
6回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
7回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
8回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
9回	有機的な形/植物	予習：画題画材の準備	15分
10回	フロッタージュ	予習：画材の準備	10分
11回	コラージュ/フォトモンタージュ	予習：画題画材の準備	15分
12回	人体デッサン 1	予習：画材の準備	10分
13回	人体デッサン 2	復習：作業の確認	10分
14回	質感の表現 1	予習：画材の準備	10分
15回	質感の表現 2	復習：作業の確認	10分
16回	学生クロッキー	予習：画材の準備	15分
17回	自画像/顔と手 1	予習：自画像の考察	10分
18回	自画像/顔と手 2	復習：制作の考察	10分
19回	立体造形とドローイング 1	予習：材料の準備	20分
20回	立体造形とドローイング 2	予習：制作の考察	10分
21回	立体造形とドローイング 3	復習：作業の確認	10分
22回	立体造形とドローイング 4	復習：作業の確認	10分
23回	立体造形とドローイング 5	復習：作業の確認	10分
24回	石膏と布 1	予習：画材の準備	10分
25回	石膏と布 2 / 作品展の展示作業	予習：展示作品の準備	15分

◆フィードバックの方法

前期に講評1回、後期にギャラリーUで作品展をひらく

作品は採点后、前後期とも期末に返却する

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

オフィスアワー

授業終了後、実習室で質問等に対応する

◆備考

授業内容は変更することもある

モードクローキー

渡邊 千佳子

アパレルデザイン科 前期 必修 (演習/実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッション画を描くために必要な、人体のプロポーションや動き、更にコスチュームの表現を学びます。身体の動きやコスチュームの素材によって、様々な表現があらわれます。これらの形を簡単な線で、的確に表現出来るよう練習をくり返します。時代の流れに合わせたシルエットやデザインが重要なので、最新のファッションの中から瞬時にそれらをとらえて、描き表わす力も学びます。自分がデザインしたコスチュームを紙面上でより良く表現できる事を目的とします。

◆到達目標 (学修成果)

瞬時に自分が思い描いたデザインを魅力的に描けることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。感性を豊かにし、表現力を身に付けることで優れた作品制作へ繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	鉛筆使用 ポーズを的確にとらえ、鉛筆で濃淡を表現	予習：雑誌を見る。	30分
2回	鉛筆使用 ポーズを的確にとらえ、鉛筆で濃淡を表現 (徐々に時間を短縮)	予習：雑誌を見る。	30分
3回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色	予習：雑誌を見る。	30分
4回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色	予習：雑誌を見る。	30分
5回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色 (徐々に時間を短縮)	予習：雑誌を見る。	30分
6回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色 (徐々に時間を短縮)	予習：画材の選定	30分
7回	模写 ファッションイラストレーターの絵を模写する	予習：雑誌を見る。	30分
8回	模写 ファッションイラストレーターの絵を模写する	予習：雑誌を見る。	30分
9回	早描き 最新ファッション雑誌から選んだものをすばやく描く	予習：雑誌を見る。	30分
10回	早描き 最新ファッション雑誌から選んだものをすばやく描く	予習：雑誌を見る。	30分
11回	早描き 最新ファッション雑誌から選んだものをすばやく描く	予習：雑誌を見る。	30分
12回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色 (徐々に時間を短縮)	予習：雑誌を見る。	30分
13回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色 (徐々に時間を短縮)	予習：雑誌を見る。	30分
14回	色鉛筆、コンテ、水彩絵の具等使用 様々な画材で着色 (徐々に時間を短縮)	予習：雑誌を見る。	30分
15回	課題のフィードバックを行う	復習：作品の振り返り	60分

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

QUOTATION、gap 等

◆オフィスアワー

毎週：水曜日 (15時30分～16時30分) 5302教室 (第5校舎3階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

アパレルテキスタイル

赤澤 結花

アパレルデザイン科 年間5回 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

今までアパレル素材について学んできたことを応用し、理解を深めた上でそこから自由に発想しテキスタイルを考えていく。デザイナーとして働く上で必要なファブリックの基礎となる知識をもとにファブリックをデザインし、実際にサンプルを作ることで、テキスタイルから発想できる力を養う。

◆到達目標 (学修成果)

今まで学んできたアパレル素材の知識を応用し自由な発想と探究心を養うことで、デザイナーとしての素養を高める。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材に対する探究心を持つことは、より充実した作品制作とアパレル企業で働く上で必要なスキルの向上に繋がる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ファブリックマニピレーション サンプル制作	復習：サンプルを仕上げる	20
2回	ファイバーシュミレーション サンプル制作	復習：サンプルを仕上げる	10
3回	ファブリックのデザイン デザイン考案	復習：資料を集める	30
4回	〃 イメージボードの制作	予習：材料の準備	30
5回	〃 サンプル制作	予習：材料の準備	30

◆フィードバックの方法

筆記テスト終了後、内容についての解説を行い、課題提出物返却時には講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	10%
課題	60%
検定試験結果	—
企業評価 (インターンシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー
テキスタイル関連雑誌

◆オフィスアワー

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5201教室 (第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある

色彩構成

加藤 良次

アパレルデザイン科 年間5回 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

デザインをするために必要な発想力、形、色の捉え方、構成、表現方法、展開の仕方などを学修する。この授業はファッションデザイナーだけでなくクリエイティブな仕事に必要な発想力を養う。平面や立体への表現など色彩と形態について考え、実験、検証を行い、答えを導き出すためにヒント、種の見つけ方、育て方(展開)から結果までのプロセスを学ぶ。また、プレゼンテーションとディスカッションにより発想から表現までの自己到達度を再確認し、今後の服飾造形に展開し応用していく力をつける。

◆到達目標 (学修成果)

- ・色彩と形態を再確認し造形力を高めることができる。
- ・色々な視点から物事を考え、発想力を豊かにすることができる。
- ・服飾造形に必要な感性を身に付けることができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

- ・卒業認定に必要ではないが服飾造形の基礎段階である発想力を鍛え、展開させていくスキルを向上させる授業。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	色彩構成1 オリエンテーション(授業内容の説明) 平面と立体、思いと時間に対する構成	予習: 彩色作業準備 復習: 構成確認	20分 30分
2回	学外授業 屋外観察と動態時の捉え方、感じ方 注意* 雨天時は3回目と入れ替える場合があります。	予習: 現地環境調査 復習: サンプル整理	20分 30分
3回	色彩構成2 視覚以外による感覚(味覚、聴覚、触覚など)と発想による構成 講評1 色彩構成1の講評ディスカッション	予習: 完成させておく 復習: 構成の再検討	60分 30分
4回	色彩構成3 細密描写からの展開と構成	予習: 彩色作業準備 復習: 構成確認	20分 30分
5回	色彩構成4 即興的な構成 講評2 色彩構成2,3の講評とまとめ(総評) 注意* 課題4は講評無し	予習: 完成させておく 復習: 資料作成	60分 60分

◆フィードバックの方法

- ・提出された作品を提示し色彩感覚、形態、構成力、表現力、技術、理解度など、質疑応答を交えて講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

◆教科書

- ・オリジナルプリント

◆参考文献

- ・随時、資料を提示する。

◆オフィスアワー

- ・前期および後期: 火曜日放課後 第5校舎地階染色研究室(原則開講日の放課後)

◆備考

- ・色彩構成の使用用具は事前に告知する。
- ・授業内容は変更することがある。

美術解剖学

杉山 尚子

高度アパレル専門科3年／アパレルデザイン科3年 年間5回 必修（講義）

◆授業の方針・概要

美術解剖学はデザイナーや美術家のように、人体に関わる造形にたずさわる者に必要な知識である。人体の外形と内部の構造を知ることによって表に現れてくる形や機能、動きを認識し、人体の形とその造形表現について学ぶ。美の基準の時代や民族による相違や人体のプロポーションについて、古今東西の美術作品にあらわされた人体表現を、画像や図版を使って学習する。ドローイングアドバンスの授業と平行して進めることで、ドローイング及びデザインの実制作にいかすことを目指す。

◆到達目標（学修成果）

人体をより正確に理解し描くことができるようになり、人の動きによる形の変化を意識したデザインを考案できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。卒業後、実際の人の動きと形に則したデザインをすることに役立つ。服を作っていく上で重要な人間と衣服と美についてのヴィジョンの考察、美術の知識を深める。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	概要 人体比例 年齢による相違点他	予習：筆記具の準備	10分
2回	頭部、頸部 性差、年齢差による表現	復習：プリントの確認	10分
3回	体幹 形、運動による変化	復習：プリントの確認	10分
4回	体肢 東洋と西洋の表現	復習：プリントの確認	10分
5回	対称、非対称 美術作品に見る表現例	復習：プリントの確認	10分

◆フィードバックの方法

レポートは採点后、前期終了前に返却する

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆参考文献

新編 美術解剖学図譜」東京藝術大学美術解剖学教室 編 日本出版サービス刊
「生体の観察」中尾喜保著 メヂカルフレンド社刊

◆オフィスアワー

授業終了後、教室で質問等に対応する

◆備考

授業内容は変更することもある

アパレルCG

多田 純子

アパレルデザイン科 前期15回 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

レイアウト力やパソコンスキルを向上させた、より完成度の高いポートフォリオの作成を行う。

◆到達目標 (学修成果)

就職活動で通用する精度の高いポートフォリオの作成を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了の為に必要とする科目。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション	ポートフォリオの必要性、作り方	資料配布、解説	20
2回	ポートフォリオ作成	レイアウトの基本(ページ構成)	予習:就職活動をする企業のリサーチ	20
3回	ポートフォリオ作成	レイアウトの基本(ページ構成)	予習:就職活動をする企業のリサーチ	10
4回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)考察	予習:就職活動をする企業のリサーチ	10
5回	ポートフォリオ作成	レイアウト・ラフ作成① 手書き	予習:就職活動をする企業のリサーチ	10
6回	ポートフォリオ作成	レイアウト・ラフ作成② 手書き	予習:資料収集	10
7回	ポートフォリオ作成	ラフチェック、PC作業へ	予習:資料収集	10
8回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)① PC作業	予習:資料収集	10
9回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)② PC作業	予習:資料収集	10
10回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)③ PC作業	予習:資料収集	10
11回	ポートフォリオ作成	途中経過提出・講評・修正	予習:資料収集	10
12回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)④ PC作業	予習:資料収集	10
13回	ポートフォリオ作成	デザイン(レイアウト)⑤途中提出	予習:資料収集	10
14回	最終調整、提出	デザイン(レイアウト)⑥最終提出	復習:学習内容総括	10
15回	発表、統括	クラス発表	復習:学習内容総括	60

◆フィードバックの方法

作成した資料の講評

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

授業に合わせてプリント(データ)を配布する

◆参考文献

随時、授業内容に合わせてネットから検索

◆オフィスアワー

毎週:木曜日(12時50分~14時35分)6101教室(本校舎)

◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

織物デザイン

赤澤 結花

アパレルデザイン科 年間 20 回 選択必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ウィービングを通して、より自由な発想を広げクリエイションを育てると同時に、服飾に活かせる作品作りを目指す。応用範囲の広い基本的なテクニックを習得し、そのプロセスも経験することで、様々な可能性の追求につなげていく。

◆到達目標 (学修成果)

織物のテクニックを知ること、クリエイションの幅を広げる

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。発想力を養うことに役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ビーズ織り サンプルを織る	復習：サンプルの仕上げ	15
2回	実物製作	予習：材料の準備	30
3回	〃	復習：仕上げ	20
4回	マクラメの基本	復習：仕上げ	15
5回	綴れ織の基本	復習：仕上げ	15
6回	フック デザイン考案 デザインを布に描く 木枠に布を張る	予習：デザイン資料を集める	20
7回	フッキング	予習：糸の購入	30
8回	〃	予習：できるところまで進める	30
9回	〃	復習：できるところまで進める	30
10回	作品制作	復習：仕上げ	30
11回	棒針編の基本	復習：仕上げ	30
12回	かぎ針編の基本	復習：仕上げ	30
13回	変化組織を使った織物でつくる作品 デザイン考案 糸量の計算	予習：デザイン資料を集める	20
14回	整経～箆通し	予習：糸の購入	30
15回	綜統通し～巻取り～織付け	復習：できるところまで進める	30
16回	織布	復習：できるところまで進める	30
17回	〃	復習：できるところまで進める	30
18回	〃	復習：できるところまで進める	30
19回	〃	復習：できるところまで進める	30
20回	仕上げと作品制作	復習：仕上げ	30

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

プリントの配布

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5201 教室 (第5校舎2階)

◆備考

授業内容は変更することもある

染色デザイン

加藤 良次

アパレルデザイン科 年間 20 回 選択必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

繊維を染める多くの染色技法の中に捺染(プリント)と呼ばれる技術がある。無地染や友禅染、型染などの伝統工芸染色を除く染色製品に広く用いられている。インテリアやアパレル素材として重要な役割を果たしているプリントテキスタイルの制作を通して知識と技術を修得する。この技術は生地の素材感を生かし自由な色彩による構成が魅力であり、豊かなテキスタイルを作り上げることができる。授業では捺染技法基礎で製版技術、顔料捺染を修得し、後半では染料捺染による、リピート柄服地またはスカーフなどの染色作品を自由制作する。

◆到達目標 (学修成果)

- ・スクリーン捺染を主に染色の基本知識と技術を修得できる。
- ・色彩に対する感性を高めテキスタイルへの理解を深めることができる。
- ・素材や造形への関心を高めることができる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

- ・卒業認定に必要なではないが今後の服飾造形への応用が出来、染色業者との共通認識を得ることができる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間 (分)
1回	オリエンテーション (授業内容説明、諸注意) 染色講義、紗張り (簡易紗張り器と半自動紗張り機)	予習: デザインソースを 収集しておく	60分
2回	捺染技法基礎 1 直接捺染法による顔料スクリーン捺染 / 紗洗浄、デザイン エスキース	予習: デザイン考案 復習: 作業の確認	60分 10分
3回	捺染技法基礎 2 紗洗浄、デザインエスキース、ポジ原稿、ポジフィルム制作	予習: デザイン考案 復習: 作業の確認	60分 10分
4回	捺染技法基礎 3 ポジ原稿、ポジフィルム制作、感光乳剤塗布、製版、修正	予習: デザイン決定	60分
5回	捺染技法基礎 4 ポジ原稿、ポジフィルム制作、感光乳剤塗布、製版、修正	復習: 作業の確認	10分
6回	捺染技法基礎 5 色糊調製、印捺 (プリント)、後処理、片付け	復習: 作業の確認	10分
7回	捺染技法基礎 6 色糊調製、印捺 (プリント)、後処理、片付け	復習: 作業の確認	10分
8回	捺染技法応用 1 課題説明、染色講義 (染料の扱い方)、デザインエスキース	予習: ソースを収集	60分
9回	捺染技法応用 2 リピートの説明、エスキース、ポジ原稿、フィルム制作	復習: 作業の確認	10分
10回	捺染技法応用 3 デザインエスキース、ポジ原稿、ポジフィルム制作、紗張り、 紗洗浄	予習: デザイン考案 復習: 作業の確認	60分 10分
11回	捺染技法応用 4 ポジ原稿、ポジフィルム制作、紗張り (半自動紗張り機)、 紗洗浄	予習: デザイン考案 復習: 作業の確認	60分 10分
12回	捺染技法応用 5 ポジ原稿、ポジフィルム制作、ポジフィルムチェック、 紗張り、紗洗浄	予習: デザイン決定 復習: 作業の確認	60分 10分
13回	捺染技法応用 6 紗張り (半自動紗張り機) ポジフィルム制作、紗洗浄、感光 乳剤塗布、製版、修正	予習: デザイン決定 復習: 作業の確認	60分 10分
14回	捺染技法応用 7 感光乳剤塗布、製版、修正、被染布前処理、色糊調製、 カラーマッチング、プリント	復習: 作業の確認	10分
15回	捺染技法応用 8 被染布前処理、色糊調製、カラーマッチング、プリント、 蒸熱処理、水元 (水洗)、後処理	復習: 作業の確認	10分
16回	捺染技法応用 9 被染布前処理、色糊調製、カラーマッチング、プリント、 蒸熱処理、水元 (水洗)、後処理	復習: 作業の確認	10分
17回	捺染技法応用 10 被染布前処理、色糊調製、プリント、蒸熱処理、水元 (水洗)	復習: 作業の確認	10分
18回	捺染技法応用 11 プリント、蒸熱処理、水元 (水洗)、後処理、仕上げ	復習: 作業の確認	10分
19回	捺染技法応用 12 プリント、蒸熱処理、水元 (水洗)、後処理、仕上げ	予習: 講評準備	20分
20回	まとめ 講評、撮影、提出	復習: 資料とし整理する	60分

◆フィードバックの方法

- ・提出作品と写真で客観的に見る。色彩感覚、形態、構成力、表現力、技術、理解度を考え、作品講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

- ・オリジナルプリント

◆参考文献

- ・必要に応じて提示する

◆オフィスアワー

- ・前期および後期: 火曜日放課後 第5校舎地階染色研究室 (原則開講日の放課後)

◆備考

- ・始業時に作業の説明があるため遅刻は厳禁。
- ・実習費を徴収。被染布、Tシャツ等、別途購入。
- ・作業着、靴を各自準備し、染料等による汚染は自己責任とする。
- ・化学物質過敏症などアレルギーその他、疾患のあるものは事前・授業計画は進行状況により変更することもある。

商品企画

赤川 順子

高度アパレル専門科 3年 / アパレルデザイン科 必修 (講義 / 実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。マーケティング視点を意識しトレンドとニーズを的確に捉え、研究対象とするブランドへ商品提案を行う。提案はワンピース1体、もしくはトップ&ボトムの上下セットとする。

マーケットリサーチ、企画立案、デザイン考案、パターン作成、サンプル縫製とあわせて、企画提案書を作成し発表を行う。各自が作業計画を立て、各段階では進捗確認を行う。

◆到達目標 (学修成果)

ブランド特長を捉え、提供価値をデザインやサンプルに表現できる力を修得する。

企画立案した内容について、魅力が伝わるプレゼンテーションができることを目指す。

商品提案に於ける一連の流れをつかみ、作業計画を立て自身の進捗管理が行えるようにする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業時に必要な科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション/商品企画の流れとポイント	予習; マーケットリサーチ	60
2回	リサーチ計画の立案とマーケットリサーチ	予習: リサーチ計画書の作成	45
3回	企画提案の手順と原価について	復習: マーケットリサーチ	60
4回	テーマ設定及びイメージマップ作成	予習: イメージビジュアル収集	45
5回	デザイン考案 (スタイル画)	予習: デザインイメージのラフスケッチ	45
6回	デザイン考案 (スタイル画)	復習: スタイル画を完成させる	60
7回	デザインチェック及び企画提案書作成	復習: 提案内容のブラッシュアップ	45
8回	パターン作成	復習: パターン・トアル作成	60
9回	パターン作成	予習: パターン・トアル作成	60
10回	トアルチェック①	予習: パターン・トアル作成	60
11回	トアルチェック②	復習: パターン/トアル作成/サンプル縫製	60
12回	トアルチェック③	復習: パターン・トアル作成/サンプル縫製	60
13回	企画書作成/サンプル縫製	予習: コーディネートプランニング	60
14回	企画書作成 (発表準備)	復習: 提案資料ブラッシュアップ	60
15回	審査会	復習: 課題を振り返る	20

◆フィードバックの方法

デザイン、トアル、プレゼン資料などの課題作成にはアドバイスを随時行う。
作成したサンプル、プレゼンテーションに対する講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問など対応いたします。

◆備考

審査会の日程は変更になることがある。

日程及び授業内容は変更することがある。

特別講義

赤澤 結花

アパレルデザイン科 集中 必修 (講義)

◆授業の方針・概要

年間を通して社会の現場で活躍するスペシャリストを招き、最新のアパレル業界の現状からトレンド、企画立案、技術的な部分までの講義聞き、知識向上と社会人が考えるもの作りの考え方を学ぶ事を目標とし、自己の知識向上と就職活動に結びつけるようにする。

◆到達目標 (学修成果)

アパレル業界の現場について実感できるようにし、 自己の知識と就職活動に対する意識の向上を目指す

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。就職に向けて現場を理解するために必要な科目です。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	QOTATION トрендセミナー	予習：講義内容について調べる	30分
2回	商品企画について	予習：講義内容について調べる	30分
3回	テキスタイルについて	予習：講義内容について調べる	30分
4回	コレクション情報	予習：講義内容について調べる	30分
5回	色について	予習：講義内容について調べる	30分
6回	ミリタリー	予習：講義内容について調べる	30分
7回	NEWYORK COLLECTION TREND セミナー	予習：講義内容について調べる	30分
8回	米マーケティングについて	予習：講義内容について調べる	30分

◆フィードバックの方法

課講義後にレポート提出、点検を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

講義終了後、質問等に対応する。

◆備考

日程及び内容を変更することもある。

インターンシップ

赤澤 結花

アパレルデザイン科 集中 選択 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

インターンシップ(就労体験)を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

◆到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション:事前授業によるカリキュラムとスケジュール、目的、内容説明。希望職種アンケート記入。	予習:企業について研究する。	90分
2回	面談:研修先企業や職種について就職部職員との面談	復習:研修先について検討する。	60分
3回	事前授業:研修の心得とマナー等について ・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	復習:企業の講義について振り返る。	30分
4回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
5回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
6回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
7回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
8回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
9回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
10回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
11回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
12回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
13回	企業研修:企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習:研修日誌を書く。	30分
14回	事後報告:報告書、研修日誌のまとめ	復習:研修日誌を書き、報告書をまとめる。	90分
15回	事後報告:報告書、研修日誌の提出と報告会での発表(学修成果と得られた技術を含む)および講評を行う。	復習:報告会での講評を振り返る。	30分

◆フィードバックの方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
試験	—
課題(制作物・プレゼンテーション)	30%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	60%

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業初日に伝達。就職部

◆備考

期間、実務時期:期間は8日から10日相当、時期は受け入れ企業により異なる。

研修内容、地域:企業により異なる。地域は主に首都圏および各県

ファッション実用フランス語

福本 しのぶ

高度アパレル専門科3年 前期 必修(講義) / アパレル技術科3年・アパレルデザイン科 前期 選択(講義)

◆授業の方針・概要

ボンジュール!とフランス語の挨拶から始まり、ファッション大国フランスに行って会話を楽しめる程度になりませんか? 簡単な会話を学びながら、フランス語の特徴を把握し、基本的なファッション用語を身につけ、また、映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけます。可能であればフランス人と会話して、学んだことを実践します。

◆到達目標(学修成果)

フランス旅行する時に役立つ表現を覚え使えるようになり、辞書を使って、短い文章の理解や、フランス語圏の通販サイトの最新WEB情報を検索できることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

選択の場合は卒業要件ではないが、現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	フランスを知る フランスと日本の関わり合い/違い 筆記体の読み/書き	身の回りのフランス語探し、発音確認	10
2回	アルファベ発音と音節/法則 ① 身の回りのフランス語/フランス語の特徴について	発音確認 講義メモ整理	20
3回	アルファベ発音と音節/法則 ② 挨拶、数字①、曜日	講義メモ整理、発音練習	30
4回	パリジェンヌのモード(ビデオ) WEB辞書の使い方 基本的なファッション用語 色、形、物の位置	講義メモ整理、WEB辞書を使ってみる	30
5回	会話1 自己紹介、家族を紹介する 国籍/職業をたずねる	講義メモ整理、発音練習	30
6回	フランスのファッション学校について フランスファッション 移民による多様性	講義メモ整理、発音練習	30
7回	会話2 時刻をたずねる 時の表現(過去/未来) 数字②	講義メモ整理、発音練習 会話練習	30
8回	フランスのお金 / 生活 パリのメトロ/トラム	講義メモ整理、発音練習	30
9回	会話3 行き先、交通手段を伝える	講義メモ整理、発音練習 会話練習	30
10回	カフェやレストランで注文する フランスのテーブルマナー	講義メモ整理、発音練習	30
11回	会話4 可能性について話す	講義メモ整理、発音練習	30
12回	会話5 フランス人との交流 日常生活について話す	講義メモ整理、発音練習 ファッション用語	30
13回	会話6 過去について話す	講義メモ整理、発音練習	30
14回	映画を見ながらフランスらしさを見て/聞いて	講義メモ整理、発音練習	30
15回	映画を見ながらのフランスらしさを見て/聞いて まとめ	全ての講義メモを整理しファイリングしておく	30

◆フィードバックの方法

毎授業にて講義メモを出すので、3回に1度の割合でチェックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

会話ができることを重視するので、積極的に声を出す。

◆教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。 仏和辞書を購入希望の場合は要相談。

◆参考文献

大学図書館のフランス語資料、フランス語サイト。

◆オフィスアワー

前期：金曜日 授業前、授業終了後、教室にて質問など対応。

◆備考

衣装博物館の展示内容、フランス人ゲストの都合などにより、授業内容は変更することもある。
希望者には、実用フランス語検定試験5級~3級の受検指導を行う。